

地域医療支援病院業務報告書

2022 年 10 月 1 日

浜松市保健所長 様

所 在 地 静岡県浜松市中区元城町 218-26

開設者 名 称 社会福祉法人 聖隷福祉事業団

代表者の氏名 青木 善治

令和3年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称
- 2 開設の場所
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績

別紙1 地域医療支援病院の名称及び開設の場所

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町218-26
氏名	社会福祉法人 聖隷福祉事業団

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院

3 所在の場所

〒430-8558 静岡県浜松市中区住吉2丁目12-12	電話 (053) 474-2222
------------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	750床	750床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 人工呼吸器50台、患者監視装置67台、除細動器4台、血液浄化装置3台、 超音波診断装置7台、保育器22台 病床数 66床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、薬物自動分析装置、 血液ガス測定装置、浸透圧測定装置、グルコース測定装置、 全自動尿測定装置、全自動尿中有形成分分析装置、全自動血液測定装置、 血液凝固測定装置、血液沈降速度測定装置、グリコヘモグロビン測定装置、 全自動輸血検査装置、尿素呼気分析装置
細菌検査室	(主な設備) 微生物培養同定装置、血液培養自動分析装置、高圧蒸気滅菌装置、 安全キャビネット、クリーンベンチ
病理検査室	(主な設備) 電子顕微鏡、免疫組織化学染色装置、凍結組織切片作成装置、 病理標本撮影装置、パラフィンブロック作成装置、自動染色装置、 全自動固定包埋装置、自動塗抹装置、ミクロトーム
生理検査室	(主な設備) 心電計、肺機能測定装置、脳波計、筋電計、超音波診断装置、 負荷心電図処理測定装置、重心動揺測定装置、血圧脈波測定装置、 サーモグラフィー、遊技聴力測定装置、自覚的聴力測定装置、 他覚的聴力測定装置
講義室	室数 9 室 収容定員 646 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 10,143 冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) 一般救急1号車：生体情報モニター・ポータブル吸引器・人工呼吸器・除細動 器・IMI空気コンプレッサー 一般救急2号車：生体情報モニター・ポータブル吸引器・人工呼吸器・除細動器 新生児救急車：新生児ウォーマー・トランスポートクーペ・患者監視装置・ポー タブル吸引器・IMI空気コンプレッサー 保有台数 3台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 18.75m ² DI室

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

別紙 2 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

(他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績)

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		67.9%	算定 期間	2021年 4月 1日～ 2022年 3月 31日		
地域医療支援病院 逆紹介率		75.4%				
算出 根拠	A：紹介患者の数			21,727人		
	B：初診患者の数			31,994人		
	C：逆紹介患者の数			24,126人		

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

別紙 3 共同利用の実績

(地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類)

1 共同利用の実績

1. 共同利用を行った医療機関の延べ数		4,965 施設
2. うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		4,195 施設
2-1 診療における件数	開放型共同指導診療	46 件
	共同分娩	0 件
	共同手術	9 件
2-2 共同利用内訳件数	MRI	2,711 件
	CT	1,522 件
	RI (シンチ)	158 件
	PET/CT	521 件
	上部内視鏡	364 件
	下部内視鏡	199 件
	骨密度	50 件
	脳波	27 件
3. 病床	紹介入院	11,104 人
	開放型病床利用率	105.2%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

1. 地域医療連絡室	コンピュータシステム、ファクシミリ、コピー、電話、机、椅子、ロッカー、開放型病院医師連絡室等
2. 放射線部	MRI、CT、RI、PET/CT 等の診断機器、上部消化管内視鏡システム、下部消化管内視鏡システム等の機器、放射線治療機器等
3. 臨床検査センター	脳波等の診断機器等
4. 病室(病床)	A3 (10 床) A4 (14 床) A5 (14 床) A6 (17 床) A7 (17 床) B3 (17 床) B4 (20 床) B5 (20 床) B6 (21 床) B7 (20 床) B8 (11 床) C5 (29 床) C7 (17 床) C8 (17 床) C9 病棟 (17 床) ICU (7 床) 救命救急 (4 床) MFICU (14 床) NICU (5 床) GCU (1 床) 計 292 床
5. 会議室・研修室	大会議室等 9 室、図書室等

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ・ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名：地域医療連絡室

職 種：事務職

(注) 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
医科 601施設（うち同一開設者・・・3施設） 歯科 423施設（うち同一開設者・・・0施設） ※登録医療機関名簿は別添3-4のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	292 床
--------------	-------

別紙 4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏 名	勤務の態様		勤務時間	備考
	別添4参照		常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	30 床
専用病床	30 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	527.21㎡	(主な設備) 麻酔器1台、除細動器2台、患者監視装置14台、超音波診断装置5台、X線撮影装置1台、ポータブルX線撮影装置1台	可
救急CT	39.86㎡	(主な設備) X線CT装置	可
ICU	209.13㎡	(主な設備) 患者監視装置14台、除細動器2台、血液浄化装置2台、人工呼吸器12台、心電計1台、超音波診断装置2台、心拍出量測定装置10台、IABP3台、ポータブルX線撮影装置1台	可
救命救急	239.71㎡	(主な設備) 患者監視装置18台、除細動器1台、血液浄化装置1台、人工呼吸器14台、心電計2台、超音波診断装置3台、心拍出量測定装置3台、ポータブルX線撮影装置1台	可

4 備考

救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている。
救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している。

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	6,777人 (3,443人)
上記以外の救急患者の数	9,582人 (2,733人)
合計	16,359人 (6,176人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	3台
---------------	----

別紙 5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
(地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

1 研修の内容

別添5-1

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	28回
(2) (1) の合計研修者数	1, 129人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無
- イ 研修委員会設置の有無
- ウ 研修指導者
- 有

・無
- 有

・無

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	総合診療内科		30年	プログラム責任者
	医師	救急科		26年	
	医師	小児科		28年	
	医師	麻酔科		28年	
	医師	外科		32年	
	医師	整形外科		20年	
	医師	産婦人科		28年	
	医師	精神科		34年	
	看護師	人材育成センター		－	
	事務	人材育成センター		－	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
中央会議室1, 2	82.93㎡	(主な設備) 机24台、椅子72脚、プロジェクター、スクリーン、PC、ホワイトボード、DVD、スピーカー、マイク WEB会議用カメラ
大会議室	331.92㎡	(主な設備) ホール椅子292脚、プロジェクター、スクリーン、BD/DVD、スピーカー、マイク、マイクスタンド、PC、WEB会議用カメラ
K01会議室	21.82㎡	(主な設備) 机6台、椅子18脚、プロジェクター、スクリーン、PC、ホワイトボード、WEB会議用カメラ
人育センター会議室	62.39㎡	(主な設備) 机15台、椅子45脚、プロジェクター、スクリーン、PC、ホワイトボード、DVD、シャーカステン、ポータブルスピーカー、マイク、WEB会議用カメラ
K41会議室	96.57㎡	(主な設備) 机28台、椅子84脚、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、BD/DVD、スピーカー、マイク、マイクスタンド、PC、WEB会議用カメラ
K42会議室	120.31㎡	(主な設備) 机28台、椅子84脚、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、BD/DVD、スピーカー、マイク、PC WEB会議用カメラ
K43会議室	7.87㎡	(主な設備) 机1台、椅子6脚、プロジェクター、PC、ホワイトボード、WEB会議用カメラ
K47会議室	66.13㎡	(主な設備) 机15台、椅子45脚、プロジェクター、スクリーン、マイク、WEB会議用カメラ

別紙 6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	院長 岡 俊明		
管理担当者氏名	地域医療連絡室		

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		①電子カルテ ②診療情報管理室 (直近2年分の記録) ③病院敷地外倉庫 (3年以上前の記録)	①患者番号による一元化 ②③患者番号ターミナルデジット方式で保管管理。 2006年1月(入院)電子カルテ導入 2006年7月(外来)電子カルテ導入 2018年5月電子署名・タイムスタンプ付き スキャナ導入
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連絡室	
	救急医療の提供の実績	総務課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連絡室	
	閲覧実績	地域医療連絡室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連絡室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

別紙 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	院長 岡 俊明
閲覧担当者氏名	地域医療連絡室 XXXXXXXXXX
閲覧の求めに応じる場所	開放型病院医師連絡室
閲覧の手続の概要 1 閲覧を希望する者は、地域医療連絡室において「病院管理・運営に関する諸記録閲覧 申込書」に必要事項を記載して提出。 2 閲覧担当者は、内容を確認した上で閲覧責任者の決裁を受ける。 3 閲覧担当者は、申請の結果について申請者へ連絡。 4 決裁後、閲覧担当者は当該記録を用意し同席の上、閲覧希望者の閲覧に供する。	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

別紙 8 医療法施行規則第 9 条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2 回	
委員会における議論の概要		
第1回 2021年7月6日（火）参加者12名 議題 ・ 新任委員のご紹介 ・ ヘルニアセンター開設のご紹介 ・ 失神／一過性意識消失外来について ・ 地域医療支援病院実績報告（2020年度四半期実績） ・ その他、意見交換会 第2回 2021年11月9日（火）参加者11名 議題 ・ 新任委員のご紹介 ・ 当院における成人先天性心疾患の取り組みについて ・ 地域医療支援病院実績報告（2020年度上半期実績） ・ その他、意見交換会 ※議事録：別紙8参照		

（注） 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

別紙 9 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（病室、病棟面談室）	
主として患者相談を行った者 （複数回答可）		
患者相談件数	医療福祉相談 22,324 件 専門看護相談 1,270 件 セカンドオピニオン相談 69 件 うち、がん相談支援センターとしての相談件数 4,373 件	総合看護相談 1,041 件 介護保険相談 446 件 がん心理士相談 7 件
患者相談の概要		
当院では、「患者支援センター」として、患者・家族からの相談に対し、医療ソーシャルワーカー、看護師、ケアマネジャー等の複数の職種が、ワンストップの窓口で対応する体制をとっている。以下、患者支援センターの相談機能について記載する。 ・医療福祉相談（医療ソーシャルワーカー） 社会福祉士・精神保健福祉士が、社会保障制度の活用、生活上及び入院上の不安、経済的相談、退院後の療養生活の相談などに応じている。主要な相談内容の上位 5 つは、「退院支援」「経済的相談」「家族関係援助」「診断・治療理解・自己決定援助」「在宅ケア諸サービス」の順であった。 ・総合看護相談・専門看護相談 総合看護相談では、看護師が、疾患や治療にまつわる悩みや不安、医療者との関係の取り方や家族関係等の相談に対応している。専門看護相談では、主のがん領域の専門知識を持った看護師がその専門知識を生かした相談に対応している。 ・介護保険相談 介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険の申請、ケアマネジャーの選定などの相談に対応している。 ・がん相談支援センター がん診療連携拠点病院として、当院の患者・家族だけでなく、他院受診中の方や、地域の関係機関等からの相談にも応じている。相談内容の上位は、転院相談を除くと「医療費・生活費」「症状・副作用・後遺症」「がんの治療」「不安・精神的苦痛」「ホスピス・緩和ケア」の順であった。2021年度は、新たに相談員 2 名が両立支援コーディネーター研修を修了し（全 5 名）、体制を強化しながら、労働局や社会保険労務士との合同相談会等など、就労支援・両立支援の取り組みを継続して行った。		

（注） 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

別紙10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	☒ 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療評価機構（2017年7月14日 認証更新） JCI（Joint Commission International）（2021年12月10日 認証更新）	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要（2021年度実績） 1) 病院ホームページ（病院ブログ更新/イベント情報掲載/診療科情報など随時更新） 2) 広報誌「白いまど」毎月1日発行（12回発行） 3) 各部門からの病院情報を「白いまど」と別紙で作成（19回「白いまど」と同封） 4) 動画サイトYouTube（新規配信 8回） 5) LINE公式アカウント（2017年10月より開始）37回配信（2021年4月～2022年3月） 6) 市民向けオンライン公開講座 5回開催（みんなで健康ゼミ×3、脳卒中、がん）	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	☒ 有・無
・入退院調整部門の概要 担当課： 患者支援センター 職員数： 35 名（医師 1名、看護師 22名 MSW 11名 事務 1名） 業務内容： 入院前から患者支援の機能強化（入院中治療検査や生活の説明、必要なサポート・退院支援の必要性をアセスメント、看護計画立案、など）、退院支援・在宅療養支援における患者・家族の意思決定支援、社会資源（介護保険、訪問看護、往診、など）を活用するための地域医療者との連携調整、患者・家族が利用可能な社会資源・制度の情報提供・調整、在宅物品注文、かかりつけ医の紹介・調整、転院・入所の検索と調整 業務実績（2021年度）2021年4月～2022年3月 入退院支援加算1：9871件 入退院支援加算3:1023件 退院時共同指導料：128件 介護支援等連携指導料：155件	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定

有・無

・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

《策定した地域連携クリティカルパス》

(名称) 静岡県西部広域大腿骨地域連携パス

急性期治療から回復・維持期へ薬物、運動療法へと繋げ再骨折予防を目的とする

(名称) 静岡県西部広域脳卒中地域連携パス

医療従事者、介護従事者、患者の情報共有のツールとして再発予防を目的とする

(名称) 浜松肺炎地域連携パス

地域の病院と連携施設・維持療養施設（かかりつけ医等）の情報共有のツールとして、患者とともに治療・療養生活を行うことを目的とする

(名称) がん地域連携パス（胃がん、大腸がん、肝がん、肺がん、乳がん）

医療従事者、介護従事者、患者の情報共有のツールとして治療継続を目的とする

(実績)

適応数	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
大腿骨	122	114	170	155	159	133	141
脳卒中	439	458	472	487	505	581	583
肺炎	—	—	—	—	—	—	22
胃がん	11	7	7	3	4	1	3
大腸がん	8	4	1	3	4	1	6
肝がん	0	0	0	0	0	0	0
肺がん	5	4	0	0	0	1	2
乳がん	72	14	8	21	12	4	9

(院内) クリニカルパス委員会

委 員：23名（診療部5、看護部11、医技技術3、事務部4）

開催実績：6回

がん診療支援センター運営会議

委 員：29名（診療部16、看護部4、医技技術3、事務部6）

開催実績：5回

脳卒中センター運営会議

委 員：13名（診療部3、看護部4、医技技術4、事務部2）

開催実績：5回

(院外) 静岡県西部広域地域連携パス委員会大腿骨近位部骨折部会

参加施設：計画病院8病院 連携保険医療機関20病院 連携診療所127医院

開 催 日：3月、7月、11月 第1金曜開催

議 案：実績報告、パス改定、普及活動（医師会、医会との連携）など

静岡県西部広域脳卒中地域連携パス運用検討会

参加施設：計画病院7病院 連携保険医療機関19病院 連携診療所169医院

開 催 日：2月、6月、10月 第1金曜開催

議 案：実績報告、パス改定、普及活動（医師会、医会との連携）など

静岡県西部広域地域連携パス委員会がん部会

参加施設：計画病院7病院 連携保険医療機関（乳125, 肺175, 肝168, 大腸174, 胃174）

開 催 日：H23/7、H24/6/4、H25/9/24開催（※以降の開催なし）

議 案：実績報告、パス改定、普及活動（医師会、医会との連携）など

浜松肺炎パス地域連携パス運用検討会

参加施設：計画病院3病院 連携保険医療機関9病院 連携診療所19医院

開催日：3月7日（月）、7月28日（水）、11月27日（月）次年度より第3月曜開催

議案：実績報告、事例共有、普及活動検討など

（その他）普及活動：新規開業医への参画案内

地域連携パス検討中：心不全